

◆ 人権教育 人権全般・人権感覚

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作 品 名	メイディア	時間(分)	対象	内 容
人権教育	人権全般 人権感覚	835	マイ・プロジェクト 「栗原恵の提案」	V	30	一般	職場内でのいじめ、セクシャル・ハラスメント、応募者の公正な採用選考、個人情報の取扱いをめぐり恵は、さまざまな人権問題にぶつかり、解決に向け歩み始める。
人権教育	人権全般 人権感覚	963	この空の下で	V 字幕	42	青教 P 一般	専業主婦の主人公。夫は仕事が忙しく会話も少ない。娘は思春期真っ只中、義母には認知症の兆候が出てきました。そんな悩める状況の中で初町内会長が回ってきました。ある日、「ゴミだし」をめぐるトラブルが起きます。「深夜を出したのは『多国籍アパート』に住む外国人たちに違いない」と住民間のトラブルを抱え込む羽目に。しかし、そのことで逆に、地域住民との輪が広がりはじめるという作品。
人権教育	人権全般 人権感覚	980	セクシャル・ハラスメント ーしないさせない 許さないー	V 字幕	24	一般	齊藤課長と部下の仲野さんのやり取りを通してセクハラについて考える内容です。そもそもセクハラとは?「単純作業は女性に任せておけばいい」「女性は職場の華でいい」などという、女性を職場の同等の仲間として見ていない考え方や、やがてセクハラを生む原因につながることを認識してもらいます。次に男女雇用機会均等法の改正について。2007年からは男性への差別も禁止されるようになりました。セクハラは、必ずしも男性から女性への一方的な話ではないことを認識してもらいます。
人権教育	人権全般 人権感覚	981	夕映えのみち	D 字幕 副音声	38	中高 P 一般	大石理恵は、パソコンを習い始めたばかりの専業主婦。夫・浩也、高校1年生のあかり、小学5年生の航平の4人暮らし。理恵が通うパソコン教室の講師・吉岡久志は、NPO法人の代表でもあり、高齢者・障害のある人のパソコン学習支援や、インターネットを利用したまちづくりにも積極的に取り組んでいる。このドラマを通して、インターネット社会で、「どう生きるか」「人ヒトとどう関わるか」「社会とどうつながるか」を考え、「相手を思いやる」ことの大切さを見つめ直します。
人権教育	人権全般 人権感覚	982	人権と向きあう ー違いを認めあうためにー	V 字幕	28	青教 P 一般	人権とは、人が生まれながらにしてある権利ですが、その権利が尊重されずに様々な問題が起こっているのが現実です。人権を尊重することは、相手との「違い」を認め、互いに理解することではないでしょうか。それにはまず、相手との「違い」を知ることが重要です。人は、知らないことによって無自覚に差別してしまうことがあるからです。「違い」を知った後に重要なのは、その知識をもとに自分で考えるということです。「障害がある人」「外国人」「ハンセン病」「部落問題」について、当事者の言葉で観る人の心に訴えかけます。

メディア:DVD・D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内 容
人権教育	人権全般 人権感覚	983	人権を行動する その時あなたはどうしますか?	V 字幕	25	一般	人権は、現代社会に生きる私たちにとって重要なキーワードであり、人権的な視点を考え方の基本にしていくことは今後ますます求められます。そのために、ふだんの何気ない日常の中での“気づき”を大切にすることがます必要ですが、それを“行動”に結びつけていくところには更に大きなハードルがあります。このビデオでは「セクシャル・ハラスメント」「個人情報の保護」「部落差別」の三つのケースを設定して、その時自分なりにどのように行動できるか、できないか、そしてその理由を考える中で人権をいかに行動につなげていくかを考えます。ビデオの巻末には自分自身を振り返るための素材として簡単なチェックリストも付けてあります。
人権教育	人権全般 人権感覚	1003	ひとみ輝くとき	V	35	小 中 高 青 教 P	ある中学校の生徒に、ひっきりなしに誹謗中傷のメールが届く。いじめの責任は誰にあるのか、加害者、観衆、傍観者、被害者それぞれの責任について考え合あう。今の子どもの世界で起きている、いじめや虐待の問題を大人が自分のこととして考え、また子ども達がビデオを観賞して「いじめの構造」を知り、自分がどの立場にいるのかを判断し、みんなで考え話し合えるものです。
人権教育	人権全般 人権感覚	1004	働きやすい職場をめざして —こころの健康と人権—	V	25	青 教 P 一般	新任課長が、うつ病になっていく様子を一連のドラマで描かれています。ストレスを生む職場とは、どういう職場なのか。また、皆がいきいき働きやすい職場にするために、どういった事に配慮をすれば良いのかを職場全体で話し合えるような作品です。
人権教育	人権全般 人権感覚	1005	こころに咲く花	V	35	中 高 青 教 P 一般	矢野加奈子は洋菓子会社で働く派遣社員。夫の順一はサラリーマンで、12歳の息子健斗がいる。加奈子は、上司田村真紀子課長が部下の小久保麻衣に厳しすぎるのを、「いじめ」と感じていた。一方、健斗は同級生の加藤琢磨からいじめを受けているが、加奈子はそのことには気づいていなかった。健斗は、最近引っ越してきた里中弓恵と出会う。弓恵には7年前に息子を亡くした悲しい過去があるが、事情を知らない加奈子や琢磨の母の知美たちから偏見の目で見られ、陰口を叩かれる存在であった…。 子どものいじめや職場でのパワー・ハラスメントの問題を、どう解決していくかを考える作品です。
人権教育	人権全般 人権感覚	1006	夢のつづき (アニメ)	V	40	中 高 青 教 P 一般	家族の中で疎外感を抱く高齢者、認知症を患う高齢者、その介護に疲れ果てた高齢者や無気力な毎日を送る若者らが、世代のことなる者とのふれあいや、高齢者を支援するサービスの活用などで、家族のきずなを深め、生きがいを感じられる生活を送ることができるようになっていく様子を描いています。 この作品を通して、高齢者の尊厳を守り、だれもが最後まで自分らしく生きることができる社会を実現するためにはどうしたらよいか考えられる作品です。

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作 品 名	メイディア	時間(分)	対象	内 容
人権教育	人権全般 人権感覚	1007	見上げた青い空	D	34	中高 青 教 P	いやがらせメール、プロフ(プロフィール)、掲示板。匿名性が高いネット時代の“いじめ”はウィルスのように次々と感染していき、陰湿な仕打ちもまるで「ゲーム感覚」です。 このビデオは、巧妙かつ残酷ないじめの現実、そして、いじめられる側もいじめる側も苦しんでいる“いじめ”本質を直視し、あらためて“いじめ”について考えるきっかけになることを企図して作成された作品です。
人権教育	人権全般 人権感覚	1008	社会福祉施設における人権 私たちの声が聴こえますか	D	30	青 教 P 一般	女優の渡辺美佐子による「ひとり芝居」(施設職員編・入所者篇)を中心に、施設職員の人権意識を高める必要性・手法等に関する専門家へのインタビューや、人権意識を高める取組として実際に施設内で行われた人権啓発活動の紹介等「どんな行為が入所者の人権を侵害する行為に当たるのか」ということが自然に理解されるような構成になっており、施設の運営に人権の観点が不可欠であることを強調している作品です。
人権教育	人権全般 人権感覚	1010	ケータイ・パソコン その使い方で大丈夫?	V	22	中高 青 教 P 一般	携帯電話やパソコンの普及により、私たちの暮らしは格段に便利になりました。特にケータイは、どこにいても、メールやインターネットが可能なことから、子どもたちにとって魅力的なツールです。しかし便利さの裏には、必ず影の部分があります。インターネットを介した犯罪やいじめは、年々エスカレートして後を絶ちません。「学校裏サイト」問題も顕在化し、ネットにおける“ルールとマナー”的確立が叫ばれています。そこで、この作品では、ケータイやパソコンを使う際のルールとマナーはもちろんのこと、トラブルに遭わないためにはどうすればいいのか、また遭った時の対応策をドラマ仕立てでわかりやすく描かれています。
人権教育	人権全般 人権感覚	1011	ちょっと待って、ケータイ	D	30	小 中 高 青 教 P 一般	Disc 1「ちょっと待って、ケータイ～被害者にも加害者にもならないために～」は子ども向け、Disc 2「ケータイに潜む危険～子どもの携帯電話を考える～」は保護者向けです。子ども向けは、①メールの落とし穴②ケータイに忍び寄る罠③プロフの危険な誘惑④学校裏の闇。保護者向けは、①ケータイに振回される子どもたち②個人情報を狙う悪質サイト③巧に忍び寄る犯罪者たち④加害者になる子どもたち、とそれぞれ4つの事例が挙げられており、1つの事例に絞って視聴や討論を行うことが出来るようになっています。
人権教育	人権全般 人権感覚	1026	職場の人権 —相手のきもちを考える—	D	27	一般	社員相談室・新人相談員佐藤が、様々な職場でおこるトラブルに悩みに遭遇することによって、“相手のきもち”を考えるとはどういうことなのかを理解していく過程をドラマ仕立てで描かれています。職場で身近に起こり得るパワハラやセクハラ、コミュニケーション不足が原因のトラブルを描くことで、そこにある意識のズレと問題点を提示していきます。 <H20年>

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内 容
人権教育	人権全般人権感覚	1027	親愛なる、あなたへ	D	37	一般	この作品は、一人の人間の気づきと再生を中心と描いています。一人一人の『気づき』こそが、互いに支え合う力が低下した地域の『再生』につながります。無関心、無理解という冷たい壁を破って、温かい見守りと相互支援を進めることの大切さを語りかけます。<H20年>
人権教育	人権全般人権感覚	1028	私が私らしくあるために 職場のコミュニケーションと人権	D	26	一般	契約社員として職場復帰した主人公の渡辺直美は、一歩引いた視点で、自分の気づいたことを職場の一人一人にそれとなく伝えます。この職場は、忙しさのあまり、相手の立場や状況の配慮、想像力が欠けてしまっています。その結果、相互の疑惑に些細な食い違いをうみ、職場がバラバラになっていき、大事なプレゼンも失敗。この失敗をきっかけに自分の職場に状況に気づいた課長は…<H20年>
人権教育	人権全般人権感覚	1029	あの空の向こうに	D	38	中高P 一般	ケータイやインターネットによる人権侵害は、いつ、だれの身に起きてても不思議ではない深刻な問題です。インターネット等の利用にあたっての「人権意識・人権感覚の重要性」や人と人とのふれあい・語り合いの大切さを訴え、こころ豊かなコミュニケーション社会を目指して制作されています。<H21年>
人権教育	人権全般人権感覚	1030	声を聞かせて（アニメ）	D	40	中高P 一般	携帯電話は、メールやインターネットなど、様々な機能を持つようになり、大人を含めたケータイ依存までつくり出しています。このケータイを子どもが持つということは、どういう環境に子どもたちを置くことを意味するのか。私たちはこの現実にどう向き合っていけばいいのか。この映画では、インターネット上の差別的な書き込みなど、今なお差別意識が残る「同和問題」についても取り上げています。<H21年>
人権教育	人権全般人権感覚	1031	ちょっと待って、ケータイ2	D	35	小中高青教P 一般	「ちょっと待って、ケータイ2～ルールとマナーをまもう～」は子ども向け、「ケータイに潜む危険2～子どもをケータイから守るために～」は保護者向けです。「①ケータイ依存」「②個人情報の流出」「③コミュニティサイトの危険性」「④ネットいじめ」の4つのテーマをドラマ展開で取り上げられています。
人権教育	人権全般人権感覚	1041	危ない！職場でのリスク事例集	D	35	一般	日常の職場のなかでありがちなリスクをドラマ仕立ての演出で、「リスクの発見」に積極的に参加できる構成になっている。「問題提起」と「解説編」の2部構成で新入社員、若手社員向けのリスクマネジメント導入研修の教材に適している。<H21年>
人権教育	人権全般人権感覚	1042	毎日がつらい気持ちがわかりますか～ゆるせない！ネットいじめ～（アニメ）	D	18	小教P	子どもにもわかりやすいアニメーションで「ネットいじめは、絶対してはいけない」ということを描き、様々ないじめの対策、そして「心の通じるコミュニケーション」とは、どうすれば身につくのかを考えさせられる内容。<H21年>

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作 品 名	メディア	時間(分)	対象	内 容
人権教育	人権全般 人権感覚	1047	人権のヒント 地域編 「思い込み」から「思いやり」へ	D 字幕	25	一般	街の喫茶店に集まつくる様々な思いを抱いた人々の交流の中から人権のヒントを考え、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していく。・結婚したら女は家庭に入るのが常識?・障害者は何が何でも介護されるべき存在?・自分を通すために強く主張して相手を傷つけたり、言い出せなくて自分が傷ついたりしたのではないか・同和問題や外国人差別など、根拠のない決めつけはないか
人権教育	人権全般 人権感覚	1048	だれかのそばで on the other side	D 字幕	27	中高教	中高生たちのだれかとつながってみたい、自分の居場所がほしいという想い。しかし、彼らは「自分の隣の席にいる人」のことを、どれくらい理解しているのだろうか。密着取材をおこなった4人の人物との「出会い」を通じて、中高生たちが、彼らを取り巻く人たちを見つめ直し、自分の存在意義について考えるきっかけとしてほしいと製作された作品です。
人権教育	人権全般 人権感覚	1049	クリームパン	D 字幕	36	高P 一般	人によって生かされ、つながっていく「いのち」を中心には描かれています。人と人とがふれあい、心を通い合わせることで救えるいのちがあります。子どもへの虐待や若者の自殺など社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えるとともに、今一度「いのち」について自分の問題として考えてもらう作品です。
人権教育	人権全般 人権感覚	1050	ネットの暴力を許さない	D	19	中高教 P	中高生の間で流行しているプロフがいじめの温床になっています。規制や監視をしても、子どもたちに自覚がなければ、ネットによる暴力を止める事はできません。いたずら、いやがらせがどういう問題を起こすのか。自分たちは加害者と同じいじめをしていないか。いじめをおもしろがる心があるからネットの暴力が止められないのではないか。こうした問い合わせをし、子どもたちに人を傷つけることの愚かさへの気づきを持たせ、人権意識を育てます。
人権教育	人権全般 人権感覚	1051	ネットいじめ ひとりで悩まない	D	23	中教 P	ネット上のいじめ、いわゆるネットいじめが深刻な問題となりつつあります。学校を離れてもメールや掲示板でいじめが続くために、教師や保護者が気づかないうちに急速に進むことが特徴です。子どもたちが、ネットいじめが許されないと学び、健全にネットを利用する態度を身につける内容になっています。
人権教育	人権全般 人権感覚	1056	それぞれの立場それぞれのきもち 職場のダイバーシティと人権	D 字幕	32	一般	男性、女性、障害者、外国人と、職場では多様な人々が働き、年代、役職、家庭環境など社会的な立場も様々です。ダイバーシティ(多様性)とは、こうした立場や価値観の違いを認め合い、個々が能力を発揮できる職場を目指す考え方です。 日常の職場で起こりそうな出来事を取り上げ、年代や経験、価値観の異なるメンバーそれぞれがどのような思いを持っているのかを描き、コミュニケーションの重要性やダイバーシティの考えに沿って、問題解決のヒントを示しています。

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	人権全般 人権感覚	1057	虐待防止シリーズ 幼児・児童虐待 一見えない虐待をしないためにー	D 字幕	25	高 青 PTA 一般	実例3話のオムニバスドラマ。ドラマに沿って、問題点と虐待を防ぐ対応法をわかりやすく紹介します。 事例1 エゴの押しつけ 事例2 発育の不安と孤立 事例3 過干渉としつけへの思い込み
人権教育	人権全般 人権感覚	1058	虐待防止シリーズ 高齢者虐待 一尊厳を奪わないためにー	D 字幕	26	中 高 青 PTA 一般	実例3話のオムニバスドラマ。ドラマに沿って、介護の問題点と虐待を防ぐ対応法をわかりやすく紹介します。 事例1 家族が介護サービスを受け入れない 事例2 虐待の自覚がない 事例3 家族の要介護状態を受け入れられない
人権教育	人権全般 人権感覚	1059	虐待防止シリーズ 配偶者虐待 一DVを許さない・しないためにー	D 字幕	25	高 青 P 一般	実例2話のオムニバスドラマ。ドラマに沿って、問題点と虐待を防ぐ対応法をわかりやすく紹介します。 事例1 やさしいときを信じたくて 事例2 気づかぬうちに子どもの虐待へ
人権教育	人権全般 人権感覚	1060	桃香の自由帳	D 字幕 副音 声	36	高 青 P 一般	核家族化や都市化が進む中、人々の地域などへの意識が大きく変わり、互いにふれあい支え合うことが少なくなっています。そのため、同じ地域に暮らしていても、名前さえ知らなかったり、相手のことを誤解して排除したりするなど、気づかぬうちに「人とのつながり」を自ら断つてしまうことがあります。 このドラマは、どの地域でも起こりうる出来事に光を当て、日常の何気ない言動を振り返ることで、見失いつつある、人と人が寄り添い共に生きる温かな世界とは何かについて語りかけます。
人権教育	人権全般 人権感覚	1064	ほんとの空	D 字幕 副音 声	36	中 高 青 P 一般	「意識と人権」をテーマとして、高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故における風評被害の問題などを取り上げ、これらに共通する誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」に気づき、人と深く向き合うこと、他者の気持ちを我がこととして思うことなど、すべての人権課題を自分に関わることとして捉え、日常の行動につなげてもらうために制作されました。
人権教育	人権全般 人権感覚	1080	ことばの暴力 ～心を傷つけたひと言～	D 字幕	20	小	何気ない普段の暮らしで、人を傷つけてしまう言葉があります。小学生の女の子が主人公で、人を思いやる言葉・優しい言葉について考える児童劇。
人権教育	人権全般 人権感覚	1082	imagination(イマジネーション) 想う つながる 一步踏み出す	D 字幕 副音 声	34	中 高 青 PTA 一般	あるラジオ番組のオンエアから3つのエピソード ①いじめ問題「いじめをなくすのはアナタ」②同和問題「関わらないのが一番それ本当?」③発達障害「見えにくいから知ってほしい、発達障害のこと」をドラマと解説者とで織りなす、心温まるワンナイトストーリー

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作 品 名	メイディア	時間(分)	対象	内 容
人権教育	人権全般 人権感覚	1084	スマホの安全な使い方教室 気をつけようSNSのトラブルに	D	23	小中 高 青 教P 一般	携帯電話、特にスマートフォンが子どもたちの間で急速に普及しています。スマホを介して、無料通話アプリや投稿サイトを利用してどこでも他人とつながることができます。しかし、スマホを介したSNSでのトラブルも増加しており、子どもたちへの教育が重要となっています。このDVDでは、ドラマとナビゲーターの解説を通して、個人情報の取り扱い、SNSに潜む危険などのトピックを取り上げ、スマホの安全な使い方を学んでいきます。
人権教育	人権全般 人権感覚	1088	多様性を尊重した職場のコミュニケーションと人権Ⅰ ハラスメントを生まないために	D 字幕	25	中高 青 教P 一般	現代企業において、周囲が気づきやすい「パワーハラ」や「セクハラ」は減ってきているかもしれません。しかし多様化する職場や人間関係の中で、ちょっとしたコミュニケーションの不和によって様々なハラスメントの芽は発生しているのです。その芽を摘む為にもよりよいコミュニケーションが重要となってきます。どこの企業でもあり得そうなショートドラマとその振り返りを通じて、多様性を尊重したコミュニケーションとは何かを視聴者に考えさせるドラマ教材です。
人権教育	人権全般 人権感覚	1089	多様性を尊重した職場のコミュニケーションと人権Ⅱ 個に向き合い、伝え合う	D 字幕	25	中高 青 教P 一般	外国人社員や障がいのある社員の増加等、あらゆる場面で職場の多様化が進む現代社会。企業で働くメンバーが、相手の“多様性”(個)に目を向け、それを意識することで円滑で働きがいのある職場になるのです。企業の多様化が原因で発生する人権課題との解決のヒントを分かりやすく描くドラマ教材です。
人権教育	人権全般 人権感覚	1092	みんな光ってる 発達の遅れのある子供たち	D	40	高 青 教P 一般	ダウン症、自閉症、脳の障害等で発達に遅れや偏りのある2才から就学前の幼児が通う、東京八王子市にある通園施設『すぎな保育園』での、1年間の子供たちの成長の記録です。46人の園児は、どの子も、それぞれの課題に精一杯取り組み、園での集団生活を楽しんでいます。そして、わが子の障害を受け止め、子供と共に生きる、明るく、やさしいお母さん、お父さん、家族がいます。そうした両親と共に、子供の成長を願う先生たちがいます。地域には毎月交流する保育園児、ボランティアなど、大勢の仲間がいます。ここには保育の、教育の原点があります。子供の持つ素晴らしい、子供とかかわる喜びが満ちあふれています。
人権教育	人権全般 人権感覚	1094	光射す空へ	D 字幕 副音 声	32 解説 14	小中 高 青 教P 一般	この作品では、大学生たちの悩みと学びを通して「正しい理解」「多様性の需要と尊重」の大切さを描きます。大学生の朝陽の父親が若年性認知症と診断されます。また朝陽にはトランジエンダーの幼馴染みとの交流もあります。そんななか、担当教官の指導の下、新しく友人になった朝陽と優海は、同和問題について深く学びをすすめることになります。登場人物の成長と共に、誰もが人権を尊重される社会について、考えていただくための教材です。

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	人権全般 人権感覚	1096	わっかカフェへようこそ ～ココロまじわるヨリドコロ～	D 字幕 副音 声	35	中高 青教 P一般	わっかの「わ」にはいろんな意味がある。調和の和、つながることも輪、めぐることも環、そして、はなしをする話 世の中にはいろんな人がいて誤解がもとで、うまくいかないこともある。そんな時は「わっかカフェ」でちょっとお茶でも飲んで、話をしよう。肩の力が抜けてきっと分かり合えるはず… ・インターネットによる人権侵害 ・高齢者の人権 ・外国人の人権
人権教育	人権全般 人権感覚	1102	いのちに寄り添う ～ターミナルケアと人権～	D 字幕 副音 声	35	中高 青教 P一般	もしも、あなたの身近の人が、重い病気になつたら？このビデオでは二組の「いのちに寄り添う」人々に密着取材しました。2人に1人ががんになる時代。現代日本に生きる全ての人々が考えるべき、命のドキュメンタリー教材です。
人権教育	人権全般 人権感覚	1105	みんな生きている	D	30	高教 P一般	震災で母を失い、出稼ぎに出た父に代わり親族に引き取られた俊太と仁美。ある日、仁美は母に会ったと言い出す。二人は母を求めて家出。そこで出会うおじさん、おばさん、なくなった母。あの海で二人が出会ったのは…。子どもの心の傷の回復に何が必要かを考えます。
人権教育	人権全般 ・ 人権感覚	1106	みんなで考えるLGBTs ①いろいろな性～好きになる性～	D 字幕	23 分	中高 青教 P一般	異性を好きになるか、同性・両性を好きになるか、あるいは誰にも恋愛感情を抱かないといった性的指向は、嗜好や志向とは異なる「指向」であり、本人が選択できるものではないと考えられています。本巻は、同性愛者(ゲイ、レズビアン)である生徒たちのドラマを見ながら、好きになる性の多様性について考える映像教材です。
人権教育	人権全般 ・ 人権感覚	1107	みんなで考えるLGBTs ②いろいろな性～心の性・表現する性～	D 字幕	19 分	中高 青教 P一般	体の性と心の性が異なるトランスジェンダー、男でも女でもないと自認するXジェンダー、自身の性自認に搖れ動くクエスチョン…、心の性、表現する性は実に多種多様です。近年は学校などにおける多目的トイレの設置や男女共用制服の整備など、徐々に教育現場でも取組まれてきています。自分が何者であるのかという戸惑いや揺らぎを経験する生徒たちの物語を見て、心の性や表現する性について考えます。
人権教育	人権全般 ・ 人権感覚	1111	気づいて一歩ふみだすための 人権シリーズ④誰もがその人らしく—LGBT—	D 字幕 副音 声	20 分	中高 青教 P一般	LGBTの問題は他人事ではなく、誰もが自分らしく生きることを考えていく上で全ての人々に関わりがあります。LGBTの人を別のカテゴリーの人と見ずに、自分にも続く性のグラデーションの中で、たまたまその位置にいる人々というふうに客観視できれば、LGBTの人たちへの見方も広がり、誰もが生きやすい社会をつくる一歩になることを伝えています。

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	人権全般・人権感覚	1112	お互いを活かし合うための人権シリーズ②ハラスメントしない、させないための双方向コミュニケーション	D字幕 副音声	26分	高 青 教 P 一般	ハラスメントをしないためには、相手の立場を尊重した上で自分の意思をきちんと伝えることが大切ですが、ハラスメントをさせないコミュニケーションの可能性もこの作品では描かれています。自分にも思い込みや偏見があるかもしれないことを自覚し、互いのズレを修正していく双方向のコミュニケーションが、ハラスメント防止の重要なポイントになるという視点のもと、ハラスメントに入り込む余地を与えない、新しいコミュニケーションの形を提案されています。
人権教育	人権全般・人権感覚	1122	性の多様性とLGBTQ+	D字幕	25分	中・ 高・ 青・ 教・ P・ 一般	「性のあり方」はとても多様で、すべての人々に関わりがあるものです。本作品は、「性のあり方」についての基礎知識を分かりやすく解説しながら、典型的でない性のあり方の人たちへのインタビューを通して、様々な性自認があることや、性的マイノリティを取り巻く実状についても伝えます。 性のあり方について理解を深めることで、多様性を尊重した誰もが過ごしやすい社会について考えていくことができる教材です。
人権教育	人権感覚	1124	バースデイ	D字幕 副音声	37分	高 青 教 P 一般	作品のテーマは、「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」です。 性的少数者については、依然として社会理解が進まず、偏見や差別、配慮に欠けた対応などで、自身の思いや悩みを打ち明けることが難しく、周囲の無理解に苦悩し、生きづらさを感じている状況など様々な問題があり、深刻な人権問題になっています。一方、性的少数者であることを打ち明けられた家族や友人等は、既成概念による偏見や知識不足によって、理解しようと向き合う前に混乱や抵抗感にとらわれてしまうことがあります。 性の在り方は多様で一人ひとりの人権に関わることであるため、性的少数者の存在や悩みに気づくことが大切です。この作品を性的少数者について理解するきっかけとし、その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人が自分らしく生きていける社会につながっていきます。そのような社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。
人権教育	人権感覚	1126	言葉があるから…	D字幕 副音声	31分	中 高 青 教 P 一般	「人権」は日常の何気ない人ととの関係性の中にもあります。しかしながら、普段そのことを当たり前のように理解しているつもりでも、家族や友人、同僚などの近く親しい関係性においては、相手を一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまうことがあります。 あからさまな差別表現でなくとも、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション(小さな攻撃性)」。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。 自覚なく加害者にならないために……。属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さを、このドラマでは描いています。職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作 品 名	メディア	時間(分)	対象	内 容
人権教育	人権感覚	1127	あなたの笑顔がくれたもの ～周りから見えにくい障害・生きづらさ～	D 字幕 副音 声	37 分	高 青 教 P 一般	<p>主人公の麻友子は、発達障害である幼馴染の紗希、オストメイト(人工肛門保有者)の女子高生美織、祖母の介護をしている桃田、それぞれ周りからは見えにくい生きづらさを抱えている3人との関わり合いによって、自分の思い込みに気づき、変わる決意をします。</p> <p>外見で決めつけたり、「障害者」や「ヤングケラー」などカテゴリーで人を判断したりせず、一人一人が考え方方も違う人間であるということを理解して向き合うことの大切さをこのドラマを通して学んでいくことができます。</p> <p>職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。</p>
人権教育	人権感覚	1129	心をつなぐ はじめの一歩	D 字幕 副音 声	26 分	青 教 P 一般	<p>職場におけるさまざまな人権課題を切り口に、人は価値観や背景など一人ひとり違うということを理解し、互いを認めて尊重する気持ちの大切さを、主人公と共に学んでいきます。</p> <p>職場の誰ひとり取り残さないために、さまざまな人権課題を自分事としてとらえ、誰しもが生き生きと働くためにはどういったコミュニケーションが必要なのか?ドラマを通して『心をつなぐ、はじめの一歩』を踏み出すヒントを与える映像教材です。</p>
人権教育	人権感覚	1131	ハラスメントの裏に潜む無意識の偏見 アンコンシャスバイアス職場のコミュニケーション向上のヒント	D 字幕 副音 声	24 分	青 教 P 一般	<p>「アンコンシャス・バイアス」とは、無意識の偏見や思い込みのことで、日常の何気ない言動の中にも表れ、職場ではハラスメントにつながってしまうこともあります。しかし、アンコンシャス・バイアスは誰もが持っていて、完全になくせるものではありません。大切なことは、「自分にもアンコンシャス・バイアスがあるはず」と意識してコミュニケーションを行うことです。</p> <p>この教材は、登場人物の視点や立場が変化する構成によって無意識の偏見を見える化し、どのようにバイアスと向き合っていくかを自分ごととして考えができる内容になっています。</p> <p>自覚なくハラスメントの加害者にならないために……。職場のコミュニケーションを見直すきっかけに役立つことを願って制作されました。</p>

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作 品 名	メ デ イ ア	時間 (分)	対象	内 容
人権教育	人権感覚	1133	みんな笑顔になる日まで	D 字幕 副音 声	30 分	中 高 青 教 P	<p>自分の身近にいる人が何らかの困難を抱えていると気づいたとしても、どうやって助ければ良いのか、わからないことはありませんか？</p> <p>その人との関係性が十分でなかったり、適切な対応を知らなかつたりすると「自分なんかが介入すると迷惑がられる」と支援をためらったり、逆に、困難を抱える当事者が「人に迷惑をかけるべきではない」と支援を断つてしまうことがあるかもしれません。</p> <p>本作品は「ヤングケアラー」と「若年性認知症」を描いた作品です。ヤングケアラーは、負担の大きさによっては、日常生活やその将来に影響を及ぼすことさえあります。若年性認知症になつた方は、本来であれば保てていたはずの社会的つながりから外れてしまい、自己の存在意義を見出せず辛い思いをしていることもあります。</p> <p>このような支援を必要としている人々のことを正しく理解し、どのように関わっていくか考える一助として本作品をご活用いただければと思います。</p>